

日・土曜日の午後10時～11時
 木曜日の午後10時～11時
 土曜日の午前10時～11時
 日曜日の午後10時～11時
 矯正歯科も変更しております。

歯周病

歯周疾患の症状・原因・進行

歯と歯ぐき（歯肉）の隙間から侵入した細菌が、歯肉に炎症を引き起こし、さらには歯を支える骨（歯槽骨）を溶かし、グラグラにさせてしまう病気を歯周病といいます。

虫歯とは異なり痛みが出ない事の方が多いのですが、気づかないうちに進行し歯肉からの出血などが起こった後、歯が自然に抜け落ちるほど重症になることがあります。**歯を失う80%以上の原因は歯周病もしくは虫歯によるものと言われています。**

歯は、歯ぐき（歯肉）の外の目に見える部分の歯冠と、歯ぐきの下の歯を支える骨（歯槽骨）に埋まった歯根に分かれます。虫歯は歯が細菌の作りだす酸によって溶かされて穴が空く病気ですが、歯周病は歯そのものではなく、歯を支える歯ぐきや歯槽骨に炎症正の変化が起こる病気です。

歯磨きが充分でないと、歯垢（プラーク）や歯石が歯と歯ぐきの境目に繁殖します。プラークの中には、重量1ミリグラムあたり1億個もの細菌が含まれ、細菌が産生する毒素によって、歯肉が腫れたり歯の表面からはがれてきて、歯と歯肉の隙間（歯周ポケット）ができていきます。またプラークの中の細菌などは、リン酸と結合して、歯石という軽石のような硬い物質として歯の表面に付着します。細菌はこの歯石を足がかりにして、さらに歯周ポケットの奥深くへと繁殖していくというわけです。



歯周病にかかると、歯ぐきやその周辺にさまざまな症状が？

- ① 健康な歯ぐき
- ・色↓薄いピンク色
 - ・形態↓歯と歯の間に入り込んでいる
 - ・感触↓弾力性に富み、引き締まっている
 - ・出血↓出血しない

〈歯周病〉

- ② 歯肉炎（歯周病の中でも初期の段階の症状）
- ・色↓赤みを帯びている
 - ・形態↓丸く厚みを持つて膨らんでいる
 - ・感触↓腫れてフヨフヨしている
 - ・出血↓軽い刺激でも出血する

- ③ 歯周炎（中度・重度の段階）
- ・色↓赤紫色になる
 - ・形態↓歯ぐきが退縮して歯が長くみえる
 - ・感触↓歯がグングラする
 - ・出血↓血や膿がでる

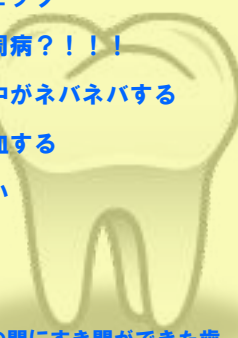
歯周病セルフチェック

※当てはまる方は歯周病？！！

- 朝起きた時、口の中がネバネバする
- 歯磨きした時に出血する
- 硬い物が噛みにくい
- 口臭が気になる
- 歯肉が時々晴れる
- 肉が下がって歯と歯の間にすき間ができた
- 歯がグラグラする

次のような方には歯周病が起こりやすい

- ・45歳以上の方・喫煙者・妊娠中
- ・糖尿病にかかっている方・歯磨きの悪い方



★正しい歯周病ケア
 ☆しっかり歯磨きでケア!!!

歯周病の原因となる歯垢（プラーク）を歯磨きで取り除きます。歯垢は生きた細菌の塊です。歯とほぼ同じ乳白色の水に溶けにくく、歯の表面に粘着しているため、うがいをするだけでは取り除く事ができません。しっかりと歯磨きをして、この歯垢を取り除くことが大切です。歯磨きをする上で大切なことは①食後には歯磨きを②寝る前の歯磨きは③いぬいに！です。

★専門家による徹底した歯面清掃PMTC!!!

歯と歯周組織の健康は、ホームケアと歯科医院での専門ケアを両立することで、維持することができます。専用の機器とフッ化物入りの研磨材を使用して、歯磨きで落とせない歯石や磨き残したプラークを中心に総ての歯面の清掃と研磨を行ない、う蝕や歯周病になりにくい環境を整えます。プラークコントロールの困難な部位（隣接面・歯周ポケット・歯並びの悪い所など・・・）にはプラークが蓄積しやすく、プラークが石灰化して歯石が出来るためプラークを取り除くのはさらに難しくなります。

（歯石除去）歯石の表面は粗造で、プラークの蓄積を促進します。歯周ポケットに歯石がでると、歯石による機械的刺激が歯周ポケットの改善を抑制し、歯石に蓄積したプラークに起因してポケット内の炎症を悪化させてしまいます。そのため歯科医院ではスクレーパーという器具を使って機械的に剥がし取ります。（歯面清掃）歯肉縁下3ミリ程度までは歯根面清掃が可能です。染色をしていき、付着部位を確認したのち、状況に合わせて道具を選択し清掃していきます。

